

【一時表の作成方法】

- 一時表のデータは、セッション接続期間内もしくは、COMMIT 操作の前までだけで有効で、その後はレコードが消去される。
- また、データを利用できるのは、データを作成したセッションだけである。同じユーザーでログオンしていても、別セッションからはデータは見えない
- 一時表の定義だけは、セッション終了後も残っている。

【一時表の作成方法】

GLOVAL TEMPORARY 句を使用して Create Table を行う

- ◇ —— COMMIT 操作で、レコードが消えてしまう ——
セッションの切断操作にて、レコードが消えてしまう
CREATE **GLOBAL TEMPORARY** TABLE Temp_emp_table
AS SELECT * FROM emp_table ; -- emp_table の定義と同値で

もしくは、

- ◇ —— COMMIT 操作では、レコードは残る ——
セッションの切断操作にて、レコードが消えてしまう
CREATE **GLOBAL TEMPORARY** TABLE Temp_emp_table
ON COMMIT PRESERVE ROWS
AS SELECT * FROM emp_table ; -- emp_table の定義と同値で

【一時表の操作方法】

操作方法は、通常のテーブルとまったく同じ